

別添資料1

地域交通人材の 育成キャラバンin北海道

事業主体／一般社団法人交通環境まちづくりセンター

01

背景・目的

【現 状】

- 地方部では地域交通専任職員不在の自治体が多い
- 学習機会や取組リソースが不足している
- 計画作成・調査・施策の停滞・形骸化に繋がってしまう
- サービスレベルや持続可能性について地域格差が生じている

【課 題】

- 地方部であっても暮らし続けられる生活環境の確保
- そのための地域交通の「活性化」と「本質化」が求められる
- これらの実現のためには職員のレベルアップが必要不可欠

【目 的】

- A) 若手人材の育成（基礎知識と取組意識の獲得）
- B) 中堅人材の育成（他の模範となる取組実践力の向上）

【1泊2日合宿式セミナー】

- 2日行程で以下①~③の一連のセミナーを企画開催
- 1日目：座学， 2日目：フィールドワーク+ワークショップ

①座 学（意義と知識）

- 地域交通に取り組む意義と目的を伝えて意識醸成を図る
- 有識者も招聘して座学により基礎的知識理解を図る

②フィールドワーク（体感）

- 乗り方教室等を併催して現場からノウハウ等を吸収させる
- 開催協力者（中堅人材）の実践力・技術力向上も図る

③ワークショップ（企画実践）

- 座学とフィールドワークを踏まえて取組企画を考える
- 企画を地元を持ち帰っていただき取組実践に挑んでもらう

03 事業エリア

【キャラバン型】

- セミナーは北海道内7か所で順次開催する
- 開催エリアは北海道運輸支局単位で調整する



04

育成目標

【ターゲット】

- 基本ターゲットは「市町村の交通担当職員」とする
- 加えて、道庁・運輸支局・交通事業者職員もサブ対象とする

▶ 若手人材の育成

- 若手人材はセミナー受講者として参加していただく
- 意義理解と基礎知識習得による戦力化を達成目標とする

▶ 中堅人材の育成

- 中堅人材はフィールドワーク協力として参加していただく
- 取組実践力の向上と成功体験獲得を達成目標とする

【数値目標：合計200名】

- 若手職員育成 ▶ 7エリア×20~30名 = 170名程度
- 中堅職員育成 ▶ 7エリア×3~5名 = 30名程度

05 プログラム案

【1日目／①座学】

- アイスブレイク／グループワーク（自己紹介等）
- 講義 1 / 地域交通の意義
- 講義 2 / 計画策定・調査分析の心得
- 講義 3 / サービス検討のポイント
- 講義 4 / 利用促進の実践技術
- 講義 5 / 先輩職員の体験談
- 情報共有 / 2日目のフィールドワーク企画について

【2日目／②FW（フィールドワーク）・③WS（ワークショップ）】

- フィールドワーク / 各開催地企画 + 終了後意見交換
- ワークショップ / グループに分かれてテーマ別企画を検討
 - ▶ テーマ 1 : 利用促進企画
 - ▶ テーマ 2 : 計画策定調査分析企画
 - ▶ テーマ 3 : 新サービス導入企画
- グループ発表 / ワークショップ企画内容を発表
- まとめと講評 / 各支局長へ依頼

※フィールドワークの企画内容によってプログラムは要調整

06

フィールド
ワーク想定
パターン

【パターン1／バスの乗り方教室見学】

- 一般住民等を対象に開催地自治体等と協力して開催
- セミナー受講者は取組実施状況オーディエンスとして見学

【パターン2／バスの乗降調査実践】

- バス乗降調査の現場をセミナー受講者に体験してもらう
- 調査のポイントや利用者の生の声に触れて意識変容を目指す

【パターン3／利用促進イベント参加】

- 開催地での利用促進イベントに参加（既存または新規）
- イベント内容や運営方法・参加者雰囲気を感じさせる

【パターン4／運転手確保イベント参加】

- 開催地での運転手確保イベントに参加（既存）
- イベント内容や運営方法・参加者雰囲気を感じさせる

07 スケジュール

【基本スケジュール】

- 準備フェーズ … 6～8月（開催地調整・参加者募集）
- 実施フェーズ … 9～10月（セミナー7か所開催）
- 検証フェーズ … 12～1月（アフターアンケート実施分析）

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
交付申請	■			■	■				
開催地調整		■	■	■	■				
講師調整		■	■	■	■				
フィールドワーク準備			■	■	■				
セミナー参加者募集			■	■	■				
セミナー実施準備			■	■	■				
セミナー開催				■	■	■			
アフターアンケート				■	■		■	■	
効果検証				■	■		■	■	
とりまとめ				■	■			■	■

08

過年度からの 改善ポイント

	R5年度	R6年度	R7年度	改善状況
開催エリア	十勝 (他地域参加可)	十勝 (他地域参加可)	全道 (全7か所)	エリア拡大
育成する人数規模	34名 (実績)	37名 (実績)	200名 (想定)	規模拡大
育成する人材	MM人材	若手人材	A：若手人材	継続
			B：中堅人材	新規
育成目標	実践力強化	戦力化	A：戦力化	継続
			B：模範化	新規
育成内容	MMの意義と 実践手法	取組意義と 基礎知識	A：意義と基礎知識	継続
			B：企画調整実践	新規
育成手法	講義+WS	講義+WS	A：講義+FW+WS	FW追加
			B：FW取組支援	新規

※MM：モビリティ・マネジメント, FW：フィールドワーク, WS：ワークショップ

体制図 (参考)

